

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分  
 【発行日】令和 2 年 4 月 2 日 (2020.4.2)

【公表番号】特表 2019-515158 (P2019-515158A)  
 【公表日】令和 1 年 6 月 6 日 (2019.6.6)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-021  
 【出願番号】特願 2018-547998 (P2018-547998)  
 【国際特許分類】

E 0 2 F 5/10 (2006.01)

E 0 2 F 5/12 (2006.01)

E 0 2 F 3/815 (2006.01)

【F I】

E 0 2 F 5/10 B

E 0 2 F 5/12

E 0 2 F 3/815 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 21 日 (2020.2.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

海底にトレンチを形成する及び / 又は前記トレンチ内に物質を挿入するための装置であって、前記装置は：

ボディと；

前記海底に係合し且つ前記ボディを支持するように前記ボディに取り付けられる海底係合手段と；

前記海底に沿った前記装置の移動の結果として前記海底上の物質を移動させる物質移動手段であって、前記物質移動手段は、前記ボディに取り付けられる複数の第 1 の物質移動部材、及び、前記物質移動手段の第 1 のモードにおける前記装置の横方向の幅が、前記物質移動手段の第 2 のモードにおける前記装置の横方向の幅よりも大きくなるように、前記物質移動手段の前記第 1 のモードにおいて前記第 1 の物質移動部材に取り付けられる複数の第 2 の物質移動部材を有する、物質移動手段と；

前記海底で前記トレンチを切り取るために前記ボディによって支持されたトレンチ切り取り手段と；を有し、

前記物質移動手段は、前記トレンチ切り取り手段が前記海底で前記トレンチを切り取っている間に、前記海底上の物質を、前記海底係合手段の前に、前記装置の横方向外側に移動させるように構成される、複数の歯を有する、

装置。

【請求項 2】

少なくとも 1 つの前記第 2 の物質移動部材は、それぞれの前記第 1 の物質移動部材に旋回可能に取り付けられる、

請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記物質移動手段は、前記ボディに取り付けられた少なくとも 1 つの第 3 の物質移動部材によって前記物質を移動させるように適合される、

請求項 1 又は 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記第 3 の物質移動部材は、取り外し可能である、  
請求項 3 に記載の装置。

【請求項 5】

前記海底係合手段は、前記海底係合手段が前記海底に係合する前記海底係合手段の第 1 のモードと、前記海底係合手段が前記トレンチに隣接した前記海底及び前記トレンチの少なくとも 1 つの壁に係合する前記海底係合手段の第 2 のモードとの間で調節可能である、  
請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 6】

前記海底係合手段は、少なくとも 1 つのスキッドを有する、  
請求項 5 に記載の装置。

【請求項 7】

少なくとも 1 つの前記スキッドは、前記第 1 及び前記第 2 のモードで前記海底に係合する第 1 の部分と、前記第 1 のモードで前記海底に係合するとともに前記第 2 のモードで前記トレンチの前記壁に係合する、前記第 1 の部分に対して旋回可能な、第 2 の部分とを有する、

請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記海底係合手段の高さは、前記ボディに対して調節可能である、  
請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 9】

前記物質移動手段は、前記トレンチから除去される前記物質が前記トレンチから離れて横方向に移動される前記物質移動手段の第 1 のモードと、前記トレンチに隣接する前記物質が前記トレンチ内に移動される前記物質移動手段の第 2 のモードとの間で調節可能である、

請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 10】

前記物質移動手段は、前記物質移動手段の前記第 1 のモードと前記第 2 のモードとの間で旋回可能な複数の第 1 の物質移動部材を有する、

請求項 9 に記載の装置。

【請求項 11】

前記物質移動手段の前記第 2 のモードにおいて、前記ボディに対する前記第 1 の物質移動部材の外側への旋回を抑制する抑制手段をさらに有する、

請求項 10 に記載の装置。

【請求項 12】

前記歯は、使用中の前記物質移動手段から下方に突出するとともに前方を向く、  
請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の装置。